

第7回執行委員会④

6月24日（木）12時～ かめや

国労

蘇我運輸区分会ニュース



オリンピックと

コロナの問題

実は先月初め、この題材で分会ニュースを書き始めたのですが、あまりの怒りの気持ちから、到底紙面で収まりきれぬものではなくなり、全てポツンとしましました。現在も気持ち的にはそれ以上の怒りがありますが、一回まとめておく必要性を感じ、こく

簡潔に記しておこうと思います。

会議内では、予防接種が会社内で実施されることについて話が始められました。やはりまだまだ未知の分野に等しいワクチンに対しての不安が大きく、またわざわざ新宿まで行くことについての不安の声が多く出されました。

社会的な話では、このワクチン接種が進むことで、一気に気が緩んでしまうのではないかとこの1年間のうがい・手洗い・マスク着用・自爾を引き続き継続させる警鐘を鳴らし続けることが大切かと思いました。そして大問題のオリ

ンピック開催ですが、「開催か否か」の議論が一瞬にして消え、いきなり観客数に関する話に変わっていました。

最初から「開催ありき」で、緊急事態宣言の発令、解除等々、人の命が関わっていることなのに、とんだ茶番劇を見せつけられたと思います。

思えば、昨年末に再度の拡大が始まった時点で「オリンピックの開催中止」を決定していれば、日本国民は勿論、世界中も危機感を持って、これほど拡大はしなかったのではないのでしょうか。最低最悪の政府であります。許せません！

若者たちが語りつづける

組合組織が弱体化したのにつけ込んで、会社は矢継ぎ早に様々な施策を組合提案なしにいきなりの現場に落とし続けています。

既に始まっている「ジョブローテーション」「現業機関における柔軟な働き方の実現」「グループ会社での副業」等々、自分たちは、そして若者たちはどう考えているのか話し合いました。「副業」に関しては、もはや賃金を抑制していくことが明白であり「でもバイト認めてやるから、金が欲しかったら自分で稼ぎなよ」という企業としてあり得ないほどの恥も外聞もない姿勢をさらけ出しています。「柔軟な働き方」は、行き着くところは人

件費の削減ですが、具体的にどう進んでいくのかも全く不明であり、現時点では「絵に描いた餅」のような感じですが、はつきり言えることは、私たちの先輩や私たちの世代も命がけで守り抜いてきた鉄道の仕事もはやどうでもいような扱いになっていることでもあります。

これを考えた人間の頭の中を覗いてみたいものです。誰も異を唱えなかったのでしょうか。

(つづく)



★ 英語の肉声放送も誰もがおかしいと思っているのに、会社内で誰も異を唱えなかったんでしょうね？

正しい情報で行動しよう！